

生活デザイン科の変遷

1964 / 昭和 39 年度	生活デザイン科開設
1966 / 昭和 41 年度	専攻科生活デザイン専攻開設
	1 年日本民芸館見学
1972 / 昭和 46 年度	2 年希望者の古美術研究旅行
	専攻科清里合宿が以降毎年の恒例行事となる
1975 / 昭和 50 年度	生デ入試に実技科目「鉛筆デッサン」を加える
1977 / 昭和 52 年度	専攻科研究誌「ARK」創刊
1981 / 昭和 56 年度	生デ研究室および演習室が 7 号館から 8 号館へ移転
1984 / 昭和 59 年度	「日本美の再発見者 ブルーノ・タウトのすべて」展
1988 / 昭和 63 年度	武蔵野美術短期大学から武蔵野美術大学短期大学部に変更 生活デザイン学科の名称から生活デザイン科となる
1989 / 平成元年度	「現代デザインの水脈／ウルム造形大学」展 生デ入試から「鉛筆デッサン」廃止、「基礎造形」に変更
1994 / 平成 6 年度	バウハウス 75 周年記念シンポジウム「デザインと知の変革」 生活デザイン科開設 30 周年祝賀会 阿部公正初代生デ主任教授特別講演
1995 / 平成 7 年度	生デ編集コース『考現学は「今」』展
1996 / 平成 8 年度	生デ入試から実技科目を廃止
1998 / 平成 10 年度	生活デザイン科学生募集停止
2000 / 平成 12 年度	生活デザイン科収束パーティー 生活デザイン科研究室撤去
2017 / 平成 29 年度	生活デザイン科同窓会準備会発足
2018 / 平成 30 年度	生活デザイン科同窓会・『生デの会』設立